

# あ い さ つ



小平町長  
関 次 雄

## 年頭にあたって

新年あけましておめでとうございませう。

令和5年の輝かしい新春を町民の皆様とともに迎えることができましたことを心からお慶び申し上げますとともに、日頃より町行政の推進にあたり、深いご理解とご協力を頂いておられますことに厚くお礼申し上げます。本年もどうぞ、よろしくお願ひいたします。

私は昨年11月に町民の皆様をはじめ、多くの方々から温かいご支援とご厚情を賜り、引き続き4期目の町政運営を担わせていただくことになり、改めてそ

の責任の重大さに身の引き締まる思いをしておりますとともに、この4年間を最後の仕事として町民皆様がいやりを感じ取れるまちづくりを目指し、行政運営を進めてまいります。

さて、昨年当町におきましては、基幹産業である農業・漁業が堅調に推移し、農業にあつては、主要作物である水稲が開花時期の高温に恵まれ平年を上回る豊作となり、肉牛部門や野菜・花卉といった作物も好調であつたことから、当初の計画販売額を大きく上回る実績となりました。

また、昨年12月に長野県で開催された「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」において、町内で収穫された「ゆきさやか」が金賞を受賞するという大変喜ばしいニュースもございました。漁業におきましては、ホタテ養殖漁業について稚貝・成貝ともに好調で、漁船漁業に關してもタコやニシンの好漁により漁獲数量が大幅な増加となつてお

り、その中でも秋サケ漁に關しては、「漁協始まつて以来の豊漁」とこれまでに例のない成果を上げられたところであります。昨年を振り返りますと、コロナショックによる経済停滞から、ロシアのウクライナ侵攻や中国の経済停滞、欧米の金利引き上げなど日本経済を揺るがす様々な出来事が起きており、新型コロナウイルスの波状的な感染拡大に伴い、経済・社会・雇用への影響はリーマンショック以上とも指摘されており、感染症の収束と社会経済活動の回復の早期実現が求められる中、物価高騰に直面し、生活困窮・事業継続危機への迅速かつ継続的な対応が求められております。

このような中、まもなく始まる新年度の予算編成は、町内公園の遊具等整備のほか、子育て支援策を引き続き推進するとともに、年次計画的な公営住宅の改善・橋梁長寿命化工事、上下水道施設の施設更新といったインフラ整備を継続し、2カ年

で実施している白谷漁港のホタテ作業施設の改修や、ゆつたりかん改修工事、おびら和牛繁殖センター整備などにより資産の充実を図り、活気にあふれ誰もが安心して住み続けられるまちの創生に全力で取り組んでまいります。

結びに、町民皆様の町政へのおお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、町民皆様にとりまして、本年も平穩で明るく、希望に満ちた幸多き年でありますことを心から祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

